

酒類規制についての意向調査の提案

理学研究科博士後期 2 回生

前回の全学実行委員会において議論の末第 65 回 11 月祭における全面禁酒が決定したが、学生全体の意向の認識が曖昧であった。これを改めて確認しておくことは、次回以降の全学実での議論の参考になり、また今後大学当局と交渉していくうえでも大きな論拠となりうるため、以下の通り提案する。

提案

PENGUIN を利用して 11 月祭における酒類規制についての学生の意向を調査する。

対象：京都大学に所属する全学生

質問項目 1：

第 65 回 11 月祭における全面禁酒が決定しましたが、あなたは今回の 11 月祭における酒類規制はどのようにすべきであったと考えますか？（当局からの介入を抜きにした 11 月祭事務局の見解を参考資料として付する）

回答選択肢 1：

全面禁酒にすべきであった

部分禁酒にすべきであった（事務局や全学実が検討した案を例示してもよい）

一切の酒類規制を行うべきではなかった

その他（自由記述）

質問項目 2：

将来的な 11 月祭における酒類規制についてあなたはどのように考えますか？

回答選択肢 2：

全面禁酒を継続すべきだ

将来的に一定程度の部分禁酒に落ち着けるべきだ

将来的に酒類規制を段階的になくすべきだ

ただちに一切の酒類規制をなくすべきだ

その他（自由記述）

質問項目 3：

その他 11 月祭の酒類規制について意見があれば自由に記述してください。（自由記述）

結果発表：

結果は 11 月祭事務局が取りまとめ、11 月祭公式サイト上、または公式 SNS 等で公表する。

また、来年度全学実に対して早い時期に学生全体の意向を確認するよう申し送ることを併せて提案する。